も 何 度

こ果そ繰そ悲い呼 \mathcal{O} しつん し度返向み も 手な人ではあ こは心い がはくはあった。 光道たやでえど をはだま 切る胸 続青ちきれ夢の わいいのっなをど せて空 といみで う数おる

0

どる

花生ゼさもきロよ 両 風 もいなら h 耳静 ける。これが空の青さを知る て行く不思議がねる

※ ルルホララ ルンホ ルルホ ルンホルルホ ンララランラララ ランララ ラランララララ ルンホ ンルホ ルフホ ルフホ ンララララ ルフホ ルフホ ンフ ル ル ル

新粉さい閉同悲い呼 じじしつん てくみもで いにや も 景砕き忘いちの何い 色かをれくび数度る がれ聞た思るをで胸 マイ もの なで 言 いのそい夢 う鏡さの そ っつをこ とく描か 中歌すこ奥におようで るに も うり

私輝海ゼは のくの口 中もかに にのななり 見はたるの 体朝 けられたからにはもう探さない 満たされて行け

×

りかえし

村和民歌

こ続果青そ繰きそ数悲夢い胸呼 のいていのりっのえしをつのん 両てし空度返と向切みみもどで 手見なの人すあこれはた心こい はえく青はあなうな いおかる ど奥 光る道さたやたでい をけはをだまに るで ち会 知 抱ど のえ る

る

る

花死生耳ゼ静さ ルルルホララララ もんきを口かよ ルルンホンンンラ ルルルホララララ 風でてすになな も行いまなむら ルルンホランンン ンルルホララララ 街くるせるねの ルルンホラララン も不不る体 時 思思がの ルンルホラランラ ルフホーンララ み議議 ララン フホ h

な

じ

ラララ

ラララ

ラ

ラ

フホ

フホ

フ

曲】木村 弓 和歌子

新粉さい閉同悲い呼 し々さつじじしつん いにやもてくみもで 景砕き忘いちの何い 色かをれくび数度る がれ聞た思るをで胸 もの たくくいで なで つ鏡 いのそい夢 そっつをこ さの 九上 のとく描か 中歌すこ奥 るに 书 におようで

つ 何度 ~ も

ルルルホララララ 私輝海ゼは のくのロじ ルルンホンンンラ ルルルホララララ 中もかにま にのななり ルルンホランンン 見はたるの ンルルホララララ ルルンホラララン つに体朝 けいは満たかれたものである。 ルンルホラランラ ル フホ ンララ フホ ララン たこ探れなかこさて ラララ フホ ラララ フホ ララ らにな行窓いけ 7